



第10回青森県即興型英語ディベート交流会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2025年7月26日（土）10:00-14:00

会場：ハイブリッド（八戸市長者公民館・Zoom）

参加者：生徒32名（青森県立青森高等学校、青森県立弘前高等学校、青森県立八戸高等学校、八戸聖ウルスラ学園高等学校）

ジャッジ：PDAスタッフ、八戸高等学校・PDA認定教育ジャッジ、八戸聖ウルスラ学園高等学校、広島大学、日本女子大学、九州大学

第10回青森交流大会が、ハイブリッド形式で開催されました。開会式では、第1回大会から継続してご尽力いただいている青森県立八戸高等学校の當麻先生より、ご挨拶をいただきました。続いて、PDA代表理事の中川智皓より、「自分の言葉がどのように伝わったか、あるいは伝わらなかったかを、試合ごとに大切に感じながら取り組んでください」との応援メッセージが送られました。その後、PDAスタッフより大会ルールの説明が行われました。POIの練習では、全員で片手を頭に乘せ、もう一方の手を伸ばす「POIポーズ」に挑戦し、会場が和やかな雰囲気に包まれました。



POI（Point of Information：ディベート中の質疑応答）の練習

1ラウンド目の論題は、“**Schools should have Saturday classes.**（学校は土曜日授業をすべきである。）”でした。肯定側は、平日の授業や課題にかかる負担を分散できることや、学校外活動との両立のしやすさなどに注目し、土曜授業の導入によって生徒の学習環境や生活の質が向上することを主張しました。一方、否定側は、土曜授業の導入によって生徒の勉強や受験対策に支障が出る可能性があることや、学力の向上につながるとは限らないことを指摘しました。また、家族との時間や休息の機会が減ることによる心身への負担、さらには教員側の労働環境への影響といった観点からも反対の立場を展開しました。双方が、生徒の学習や生活、家庭への影響など多面的な視点から議論を深めました。



弘前 B VS 青森 C



八戸 A VS 弘前 A



ウルスラ B VS 青森 A



ウルスラ C VS 八戸 B

続く2ラウンド目の論題は“**Parents should be punished for the crime their children committed.** (政府は、子供の犯した犯罪について親を罰するべきだ。)”でした。肯定側は、子供の非行や犯罪の背景には親の監督責任や家庭環境が深く関係しているとし、親に対する一定の罰則を設けることで、未然に犯罪を防ぐ抑止力になると主張しました。一方、否定側は、子どもと親はそれぞれ独立した人格であり、子どもの行為に対して親を罰するのは不当であると反論しました。また、親を処罰することによって家庭環境がさらに悪化し、かえって子どもへの悪影響が強まる恐れがあると指摘しました。



ウルスラ A VS 弘前 B



スピーチの様子 (ウルスラ B)



POI！ (青森 A VS 八戸 A)

2回の実践を終えると、ジャッジによる推薦に基づいて選出された生徒によるエキシビジョンディベートです。まずはその代表者6名が発表されました。論題は、“**Olympic Games should be small-scaled.** (オリンピックを小規模化するべきだ。)”でした。東京オリンピックの事例などを用いながら説得力なスピーチを披露しました。多くの友人が見守る中で、時にはPOIを通した質疑応答にも取り組みながら堂々とスピーチしました。



エキシビジョンディベートの様子



集合写真

【表彰】

〈エキシビジョンディベーター賞〉

・PM	八戸聖ウルスラ学園高等学校	_____さん
・LO	青森県立青森高等学校	_____さん
・MG	青森県立八戸高等学校	_____さん
・MO	八戸聖ウルスラ学園高等学校	_____さん
・LOR	青森県立八戸高等学校	_____さん
・PMR	青森県立弘前高等学校	_____さん

〈ベストディベータ賞〉

_____さん（八戸 A）★2 回選出
_____さん（ウルストラ C）
_____さん（八戸 B）
_____さん（ウルストラ A）
_____さん（ウルストラ A）
_____さん（ウルストラ B）
_____さん（青森 C）
_____さん（青森 C）
_____さん（青森 B）
_____さん（青森 A）
_____さん（青森 A）

〈ベスト POI 賞〉

_____さん（ウルストラ C）★2 回選出
_____さん（ウルストラ B）★2 回選出
_____さん（青森 A）★2 回選出
_____さん（八戸 B）
_____さん（ウルストラ A）
_____さん（青森 C）
_____さん（青森 B）

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・今までは自分の学校のメンバーとしか練習していなかったもので、他校のたくさんの人とディベートをすることができてとても良い経験になりました。また、**Exhibition** のメンバーのディベートはとてもクオリティが高く、いろいろ参考になる点もあったし、良い影響を受け、ディベートに対するモチベーションが上がりました。ジャッジの方からのアドバイスを参考に、これからの練習を頑張ります！（青森）
- ・初めての大会、初めての相手とのディベートでとても緊張してしまい、思ったことを言えなかったり、プレパが上手く進まなかったり、意見を積極的に出せなかったり、具体的は出したものの、そこから結論への結びが上手くいかなかったりと、自身の様々な問題点を痛感しました。今回ジャッジの先生方から頂いたアドバイスや、他校の皆さんを見て学んだことを多く吸収し、これからのディベートの中で実現して行けるよう精進します。チームメンバーに支えられて、一勝することが出来たことが何よりも嬉しく、次は自分がチームメンバーを引っ張っていける存在になれるように自分自身の成長にも繋げて行きたいと思います。（青森）
- ・普段とは違う良い議論をすることが出来て本当に良かったです！！他校のレベルややり方などを見て、今後活かせるような良いところを見つけることが出来ました。大会に出場するのは初めてだったので最初はとても緊張していましたが、たくさんの人と交流したり、議論を重ねたりするうちに、緊張がほぐれ、よいディベートに

することが出来たと感じます。ベストディベーター賞をとれたときは本当に嬉しかったです！まだまだ未熟なので、さらに練習や経験を重ね、たくさんの大会に出てみたいと思うことができる大会でした。今回の大会を支援していただいた皆様には本当に感謝しています。本当に楽しかったです！！（青森）

- ディベートの大会に参加するのは初めてで、昨日は特に、どんな雰囲気なのかな…、周りにのまれてしまったらどうしよう…と不安や緊張が大きかった。しかし、いざ着いてみると、ディベートが始まる前に対戦相手なのにも関わらずフレンドリーに話しかけてくれたり、終わった後も良かったところをたくさんほめてくれたりして感激した。勝ちたい！という気持ちだけでなく、互いに深め合っているいいディベートをしたいという気持ちがみんなから感じられて、あの明るく生き生きとした雰囲気が大好きだった。コミュニケーション力の高さにも驚き、グローバルに活躍したいと思うなら、私もあのくらい積極的に行かなければ！！と思うことができた。ジャッジの先生方からいただいたコメントや、エキシビジョンマッチから学んだこともとても大きく、これからも、よりよいディベートを楽しみながらつくっていくよう頑張ろう！と決意を新たにできた。（青森）
- もっと英語を勉強しようと思いました。モチベーションになりました！（弘前）
- 県内にこんなに話せる人たちがいることを知り、良い刺激になった。次は善戦出来るように、精進したいと思った。（弘前）
- 同い年でたくさん話せる人がすごいと思った。私もたくさん話せるようになりたい。（弘前）
- 自身の英語力を図るととてもいい機会だった。相手のいいところを分析して自分の力を向上していきたい。（八戸）
- 特にエキシビジョンマッチでは、英語も論もハイレベルで感心するとともに、一勝できたことで少しの自信にもなりました。ありがとうございました。（八戸）
- 今日は本当にありがとうございました。他校の方々と実際にディベートをして、他の人の意見のまとめ方や POI の仕方を学びました。今までのディベートのなかで一番反論など、ばちばちでできたので楽しかったです。これからのディベートにいかしていきたいです。（八戸）
- 日本語だとたくさん話せるのに英語だとあまり話せないのが悔しかったです。（ウルスラ）
- 1回目で言われた改善点を活かしてわかりやすく伝えることができたと思います。ですが改善できる場所も見つかったので来年に繋げられるよう皆で練習していきたいです。他の高校の方たちの考え方も新しい発見になってとても充実した時間になりました。（ウルスラ）
- 普段関わりのない他校の方と一緒にディベートができて光栄でした！（ウルスラ）